

議 事 録

会 議 名	第7期第8回寒川町まちづくり推進会議		
開 催 日 時	令和4年2月24日(木) 午後3時 ～ 午後4時30分		
開 催 場 所	自宅等、寒川町役場東分庁舎第3会議室（オンライン開催） 傍聴：寒川町役場別館3階議会第2会議室		
出席者名、欠席者名及び傍聴者数	<p>○出席委員</p> <p>杉下会長、落合副会長、半澤委員、安江委員、上山委員、山下委員、大関委員、大久保委員、金子委員、吉田委員、高崎委員、庭野委員、平本委員、井村委員、菊地委員</p> <p>○欠席委員</p> <p>相田委員</p> <p>○事務局</p> <p>戸村町民部長, 岡野町民協働課長, 越原副主幹</p> <p>○傍聴者数</p> <p>4名</p>		
議 題	<p>(1) 第7期寒川町まちづくり推進会議報告書(案)について</p> <p>(2) 第24回まちづくり懇談会に係る報告書(案)について</p> <p>(3) 各計画プラン等進捗状況一覧表・いまここマップに係る報告書(案)について</p>		
決 定 事 項	<p>1 議事録承認委員：井村委員、半澤委員</p> <p>2 次回会議の審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第7期寒川町まちづくり推進会議報告書(案) ・第24回まちづくり懇談会に係る報告書(案) ・各計画プラン等進捗状況一覧表・いまここマップに係る報告書(案) <p>3 次回会議は、5月24日(火) 午後3時からに決定。</p>		
公開又は非公開の別	公 開	非公開の場合 その理由（一部非公開の場合を含む）	
議事の経過	<p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 新任委員自己紹介</p> <p>4 議事録承認委員の選出</p>		

【事務局】まちづくり推進会議では、当日の出席委員のうち、名簿の上から順に持ち回りで議事録承認委員を指名しております。前は、15番杉下委員、16番菊地委員を指名しておりますので、今回は前回御欠席でした14番井村委員、1番半澤委員を指名したいと思います。異議はございませんか。

(各委員、「異議なし」の意思表示あり)

【事務局】それでは、井村委員、半澤委員、御承諾いただけますか。

(井村委員、半澤委員「異議なし」の意思表示あり)

【事務局】ありがとうございます。それでは、本日の会議の議事録承認委員は井村委員と半澤委員といたします。では、これ以降の議事進行につきましては、杉下会長をお願いいたします。よろしくをお願いいたします。

【杉下会長】それでは、早速議題に入らせていただきたいと思います。まず、(1)第7期寒川町まちづくり推進会議報告書(案)についてです。事務局から御説明をお願いいたします。

5 議題

(1) 第7期寒川町まちづくり推進会議報告書(案)について(資料1)

【事務局】-資料1に沿って説明-

【杉下会長】ありがとうございます。(2)(3)の詳細内容については後ほど行いますが、頭出しの文章について事務局から御説明がありました。これについて、何か御質問御意見等がございましたら、よろしくをお願いいたします。

これは頭出しなのでよろしいですか。頭出しの(2)(3)の内容は後ほど御説明があるので、そこで気づいた点があれば、関連で(1)についての御質問等を受けます。では、内容に早速入らせていただきます。一旦、(1)は閉じさせていただきます。続きまして、(2)第24回まちづくり懇談会に係る報告書(案)について、事務局から御説明をお願いいたします。

(2) 第24回まちづくり懇談会に係る報告書(案)について(資料2)

【事務局】-資料2に沿って説明-

【杉下会長】ありがとうございます。事前に資料も配布しておりますので、早速、御意見等をお伺いしたいと思います。何か御質問御意見等があれば、挙手をお願いいたします。上山委員、お願いいたします。

【上山委員】すみません。懇談会ありがとうございます。質問なのですが、前回のまちづくり推進会議の際、懇談会の参加者が2名ぐらいの応募しかなかったように記憶しています。その時点では、締切りも過ぎていたと思うのですが、結果、8名の参加ということは追加募集をされたということなのでしょうか。

【杉下会長】事務局、お願いします。

【事務局】一旦、11月30日で締め切った時点で、4名のエントリーがございました。参加者4名では少ないかなと感じ、募集を12月いっぱいまで延ばし、11名の方にエントリーしていただきました。当日、御都合により3名の方が御欠席され、結果8名が参加という形になりました。12月末まで延ばした応募で11人のエントリーがあったということになります。

【杉下会長】上山委員、よろしいですか。

【上山委員】ありがとうございます。これは報告書ではなく、懇談会に対する意見になってしまうのですが、2月5日の開催に対して、人数の募集期間が11月30日までというのは随分早いと思っていました。もし、今回のように期限を1か月ほど延ばせるのであれば、最初からその期限に設定してはどうでしょうか。

【杉下会長】事前準備等による関係かと思うのですが、何か御意見あれば事務局、お願いします。

【事務局】ありがとうございます。当初、参加者制限で15名という枠を設けていました。もし15名以上の2、30人の応募があった場合、抽選にする予定をしておりました。Zoomの御案内や札の郵送等による時間的な余裕を考え、11月30日を締切日として設定いたしました。上山委員の御意見を参考に、今回はもう少し締切りを延ばしても良いのかなと思います。

【杉下会長】ほかに御意見御質問等があれば、お願いをいたします。先に安江委員、次に菊地委員、お願いしたいと思います。まず、安江委員、お願いいたします。

【安江委員】2月5日はありがとうございました。私も直接見たり、少し話もさせていただきました。報告いただいたとおり、全体的にすごくいい雰囲気です。皆さんがお話できていたかと思えます。意見になってしまうのですが、まちづくり懇談会の最初に課長から「寒川町の地域における課題を町民と行政が共に考えて話し合う」と目的の説明があったのですが、それにしてもキャッチボールの時間が少なかったと感じました。皆さん意見や言いたいことは言えたと思うのですが、それなりの答えが返

ってきたのかについては、やはり2分という時間の中ではやりづらさを感じました。参加者だった妻からも時間の制限で切られてしまうのは話しづらいと聞きました。本来の目的として、町民の皆さんが考えながらやり取りを行うことも含まれていると思うので、自治会長からの自治会の活動紹介の様に、参加者同士が相互の困りごとを解決に導いていければすごく良かったのかなと思います。参加者が話ただけで満足するのではなく、問題解決までもっていくということが不足していたのかなと思います。今回の懇談会は、ファーストステップだと思うので、次回から進めていければ良いと感じました。

【杉下会長】これに対して、何か事務局ありますか。

【事務局】懇談会後のアンケートで「よかった」と回答していただいた参加者の中に、集合型の懇談会にも参加されたことがある自治会に関係する方がいます。以前、菊地委員から集合型とオンライン型の比較ができるの良いという御意見をいただきました。今回懇談会を開催するにあたって、会長にタイムスケジュールを作成していただいたのですが、それを事前に知りたかったという御意見をその参加者の方からいただきました。加えて、タイムスケジュールは事前に知りたかったが、時間配分が決められているおかげで集合型のときより、公平に話す機会があったとの意見もいただきました。

【杉下会長】安江委員、よろしいですか。

【安江委員】はい、いいです。次にどう生かしていただけるのかが見えていくと良いです。答えはまだ出ないと思うので、次に活かしていただければと思います。

【杉下会長】ありがとうございます。先ほど手が挙がっていた菊地委員、御発言お願いいたします。

【菊地委員】当日、杉下委員にはコーディネーターをしていただきましてありがとうございます。資料を拝見しまして、安江委員の御質問もそのとおりだと感じました。集合型の場合、懇談会後に町が知らないところで課題を解決する人とソリューションを持っている人が繋がることもあると思います。オンラインの場合、懇談会が終わるとどうしてもぶちっと切られてしまうので、その点をどのように改善していくかが難しいと思いました。集合型とオンライン型の満足度の違いや過去の参加人数の差異は議題によっても大きく変わるのか、単純に比べられないのかなと思いました。集合型とオンライン型の両方の懇談会をオーガナイズする側として、雰囲気や満足度というのは、肌感覚で良いので、どの点が優れており、どの点に課題があるのか報告書では伝えきれないところがもしあれば、感想でも結構ですので教えていただければと思います。もう一点、LINEで参

加者を募集したというのは、まさしくどのチャネルで募集をするのかということが、どのような人に参加してもらいたいのかという1つのメッセージになります。どのような募集が広く町民に伝わり、どこに引っ掛かるかについて少し見えたかなと思います。

【杉下会長】菊地委員から、当日の満足感や空気感についてと募集についての大きく2点ご質問がありました。事務局よろしいですか、お願いします。

【事務局】はじめに、集合型とオンライン型の違いについて、大きな差異はないのかもしれませんが。今回2人からの御発言をいただいた後、町長からのコメントをいただくという流れを繰り返して、最後に各テーマ10分程度のフリーディスカッションの時間を設けました。集合型かオンライン型かというよりかは、進行の時間配分がなされた時の方が、円滑に進んだと感じています。集合型で同様にできたかについては分かりかねますが、タイムスケジュールに沿って進行したというのが大きなポイントだと感じます。もう一点の参加者について、アンケートの懇談会の開催についてどこで知ったかという質問に対し、2、30代の2名の方が町のLINEアカウントで知ったと回答しています。先ほど、テーマによりけりというお話もありましたが、今回、LINEを用いた募集のかけ方によって世代的に若い方の目についたのかなと思いました。

【杉下会長】ありがとうございます。当日御参加いただいた部長と課長からも、空気感や開催方法の差異について何か御感想があればお願いします。

【町民協働課長】今年度のまちづくり懇談会が初めての参加でした。オンライン開催ということで、一時はどうなることかと思いましたが、タイムスケジュールが整っていたので、皆さんが御意見を発言でき、それに対する回答も出せたのかなと思っております。集合型のまちづくり懇談会に参加したことがないため何とも言えませんが、オンライン型だと他の参加者の発言に便乗しづらいのかなと危惧しております。

【町民部長】今回、20代の大学生の方に参加していただき、町の様々な建設的な考え等々の御意見を述べられておりました。集合型では年齢層の高い方が多く参加されていたので、この点とても良かったと思っております。

【杉下会長】ありがとうございます。菊地委員、何か他にございましたらお願いします。他に御意見御質問があればお願いします。安江委員、お願いします。

【安江委員】菊地委員が言っていた、懇談会後の集まりについ

て1つ提案があります。Zoomを使った際、懇談会後に放課後タイムや懇親会のような場を設けることを次回やっても良いのかなと思いましたが、もう一件お伝えし忘れていたことがありました。今回、まちづくり懇談会を開催するにあたっていろいろな方にお話しを聞いたのですが、聞くだけならしたいが話はしづらいとの意見が多く出ました。傍聴の案内があると思っていた地域の方もいらっしゃいました。次回、開催する際には傍聴の枠を設けると参加者が増えると思います。

【杉下会長】今、面白い意見が2つありました。事務局、何かありますか。お願いします。

【事務局】2つの御意見ありがとうございます。まず、ブレイクアウトルームについて、分かれた際のファシリテーターや募集時にお知らせしていなかったことから、今回の懇談会では設けることをしませんでした。このことは、次回以降の課題とさせていただきます。もう一点の傍聴枠について、できれば御参加して発言していただくことが理想ですが、まちづくり推進会議では、傍聴者用の部屋を設け「傍聴」というアカウントから聞くことが可能となっています。発言はしたくないが、聞くことだけはしたいという方がいらっしゃいましたら、別に傍聴の枠を設けてもいいのかなと思います。ただ、今回諸事情により、消防署から町は参加しておりました。通常時、傍聴室を設けることができれば、このことは可能だと思います。

【杉下会長】ありがとうございます。安江委員、何かありますか。

【安江委員】放課後タイムは、特別ブレイクアウトルームを設けず、画面を流しておくだけでいいと思います。参加者にホストの権限を譲渡すれば、参加者がブレイクアウトルームをつくることのできるから、事務局側ができないからと尻込みする必要はあまりないかと思えます。傍聴について、来庁しなくてもスマホやパソコン、タブレットから聞ければより手軽になり、準備があるから大変と捉える必要もなくなるかと思えます。

【杉下会長】これは御意見、やり方として御検討いただければと思います。他に何か御意見御質問がある方、よろしく願いいたします。

では私のほうから、当日コーディネーターを務めた者としての感想なのですが、進行する中で参加者に公平に発言する機会を設けることを心がけました。行政の方が司会をされると、手が挙がった方全員に発言を求めてしまい、ノーと言えない点が行政の現状の弱みだと感じています。全体の時間と2つのテーマということ逆算した結果、当日人数の変更がありました。

1人2分以内の発言時間でお願いをしました。そこで余った時間をフリーディスカッションの場としました。以前参加した住民説明会において、1時間しかない意見交換にも関わらず、最初の発言者がやり取りも込みで25分間も話していたことがありました。時間をある程度区切って進行することは、発言者も回答者も、傍聴者も理解しながら先に進めることにつながり、それを考えた際、1人2分が妥当だと考えました。発言者が多い場合も、話を理解しにくいことから、2名が2分ずつ発言し、町長に答えていただくということを繰り返しました。当日、安江委員が発言の機会を求めて、私も発言を許しましたが、本来であればこれはどうだろうと思います。オンライン型の良さは、自宅から気軽に参加できることに加え、参加者の家族や仲間も一緒に参加できることですが、一度参加者と一緒に聞いている方のイレギュラーな発言を許可してしまうと、その後もイレギュラーな発言が度重なって出てきてしまう場合があります。そうした場合、收拾がつかなくなってしまうため、イレギュラーな参加は本来あるべきではないのかなと思います。今回、実証実験的にZoomを利用したオンラインのまちづくり懇談会を開催し、良し悪しを検証した後に、次につなげていくことを目的にしていました。その中で不規則な参加というのは、今後飛び入り参加をありにするべきなのか否かについての内容につながるため、どのような意図を持って御発言を求められたのか、御意見をお伺いできればと思います。

【安江委員】当日確かに急にお話をさせていただきました。杉下会長からもありましたように、時間のことは気にしていました。全体の少し時間が余ったところで、お話をさせていただこうと思っておりましたが3分と少し話過ぎてしまいました。全体の概要や流れとして、あえて発言の機会を求めました。意図としては、参加者だけでなく町の人や参加者の家族も聞いているということをお分かっていたためです。誰でも自由に町長に話ができますよということを見ていただくために、確認をとってお話をさせていただきました。

【杉下会長】今回、コーディネーターの点から、自分の進行が良かったのか悪かったかの別の検証にもなるかと思えます。テーマ1について進めている際に、イレギュラーな発言があると、テーマ2について参加者が話す時間が取れなくなってしまいます。全体のタイムスケジュールから、町長に対して発言できる機会をイレギュラーに失ってしまうことは、参加者の期待からずれてしまうと思えます。発言をしたい参加者以外の人も見ているということはいいことだと思いますが、当初の参加者以外のイレギュラーな参加は、参加者の発言の機会を無くしてしまうことにもつながってしまうと思えます。今回のまちづくり懇談会では、不満感不平感を無くしていきたいと考えていました。安江委員の考えも分かりますが、参加人数を配慮し8から10名の参加者が適切なのかなと思います。人数が増える場

合は、同じテーマを何回かに分けて開催するのも一つの方法かなと思います。進行側としての意見を述べていますが、安江委員の意見と足して二で割るということもできません。やり方として、今後の課題感としてどうでしょうか。

【安江委員】タイムスケジュール上は、そのようなことは必要だと思います。今おっしゃっていただいたとおり、人数を区切ってあげることもありますし。あとは、少しオープンな余韻を残すことができれば、メインの懇談会は参加者が発言、放課後タイムは自由に発言とより議論が活性化するのではないかなと思います。確かに時間が決められており、参加者に公平な発言の機会をとなると会長のおっしゃるとおりだと思います。ただ、懇談会の本来の目的は問題解決というところもあるので、話すだけで満足してはいけないと思っています。最初、時間を区切ってというのは、そこはアグリーですし、それ以外の付加価値、ブレイクアウトルームの場を設けることや終わった後に余韻を残せるようにするという改善策があるのではないかなと思います。当日、時間を見られていることもあり、発言の機会をもらえないと考えていたので、話すことができるととても助かりました。ありがとうございました。

【杉下会長】今回、実証実験的な懇談会でもあったので、これをゴールと考えてはいけないと思います。これをきっかけに今まで Zoom やオンラインでできなかったものを今後行い、コロナ禍関係なく現場にいけない人も参加しやすい、LINE の募集で若い世代の参加者が出てくる、そのような新しい機会をいろんなところから吸い上げ、町に反映させていくという機会のファーストステップだと思います。懇談会内外のブレイクアウトルーム等々、今後議論しながら、この懇談会がより充実したものになっていけばいいのかなと感じております。

他に何か御意見御質問あれば、お願いをしたいのですが。菊地委員、お願いいたします。

【菊地委員】今の御意見とやり取りについて、非常に興味深く、そのとおりだなと両方納得できるなと聞かせていただきました。言いたいことをしっかり言える機会をいただくことがこれまでのやり方だと思います。杉下会長がおっしゃったとおり、声大きい人が時間をつぶしてしまうことがあってはいけません。懇談会の懇談が、良い意味の懇談のスパイラルを生んでいくという意味で言うと、計画されたテーマではなく懇談から生じた、ひらめきや気づきを互いに生じることができる場を最終的には目指せばいいと思います。不規則発言が適切な言い方が分かりませんが、今回の懇談会で両立の難しさが浮き彫りになり、さらなる工夫が必要だということに改めて理解できたと思います。逆に言うと、そのような点も含め、懇談会を進行できたのは杉下会長ならではだったのかなと思います。

【杉下会長】ありがとうございます。御意見として承っておきます。他に何かございますか。事務局お願いします。

【事務局】事務局から1つ確認したいのですが、概要アンケートというのは参加された方の御意見をまとめたものになります。報告書の方に今の傍聴も設けたほうが良いという意見などの、委員さんからいただいた意見も報告書の方に少し加えて書いておいたほうがよろしいですか。

【杉下会長】どうですかね。推進会議の議事録は、議事録としては残りますが、懇談会は懇談会としての検証の一つの意見として、集約して、ここにまとめていただいたほうが、最終的に町長にも報告をするわけなので。その際に、確認や整理がしやすいと思うので、ここに付け加えていただいたほうがよろしいかと思います。よろしいですか、各委員さん。

(各委員、「異議なし」の意思表示あり)

【杉下会長】それでは、そちらで取りまとめて、付け加えるということをお願いをいたします。ほかにもございますでしょうか。よろしいですか。では、一度、ここで(2)は閉じさせていただきたいと思います。続きまして、議題(3)です。「各計画プラン等進捗状況一覧表・いまここマップ」に係る報告書(案)について、事務局より御説明をお願いいたします。

(3) 各計画プラン等進捗状況一覧表・いまここマップに係る報告書(案)について(資料3)

【事務局】-資料3に沿って説明-

【杉下会長】ありがとうございます。(3)の議題について何か御意見、御質問ありましたら、よろしく願いいたします。よろしいですか。いろいろ積み上げて、まずは、「いまここマップ」でこのタイミングでいま議論してますよというのが分かるように作れたとなりますが、よろしいですか。議題の(1)に戻ります。

議題戻り、

(1) 第7期寒川町まちづくり推進会議報告書(案)について

【杉下会長】(1)で、第7期まちづくり推進会議が終わるに当たって町長に報告をします。そこで、大きく(2)(3)についての詳細、(2)のところは今日の御意見を集約したのを付け加えるなどの修正をしながら、最終的に報告をするということで、我々が第7期としてやってきたことの積み上げの整理になってくるかと思います。(1)の報告書の頭出しはそのようなところを含めて、トータル的に御意見を各委員さんからお伺いしたいと思います。委員名簿の上から、半澤委員、何か御意見等がございましたら、お願いしたいと思います。

【半澤委員】資料3-4があります。私の認識だと、当初、このテーマ選定をするに当たって、今町民からの意見を集約するのにどのような制度があるのかということで、見てきたと思います。何が言いたいかというと、はじめに、この表を作った趣旨というのは、今期のテーマは何になりましたと。その中から優先度の高いテーマを選んだ結果、去年は前期に扱ったパブリックコメントで、今回が懇談会でした。懇談会について、どうも趣旨どおりに進んでいないということで、基本から一応眺めた上で、懇談会をやりましょうと、私はそのような理解をしています。あと、2つ目に出てきた、「いまここマップ」というのは共通課題です。いろいろ企画・実行するに当たって、一般の人が一体どの時期になっているのかというのが分かりにくいという意見もありました。そのような意味で行くと、始めの報告の中で、共通課題として挙げられた2つをどのような理由で選定したか、という背景をもう少し追加した方が良いのかなと全体で感じたところ です。

【杉下会長】ありがとうございます。事務局、何かありますか。

【事務局】今回の議題が、まちづくり懇談会と進捗状況一覧：いまここマップの2つということで、それぞれ資料2・3で今回扱うことになった現状と経緯を書かせていただきました。まちづくり推進会議1回目、2回目、3回目の流れが資料3-4の現状と提言に至った経緯ということで書かせていただきました。順番的にこのような順番だったと記録しておりますが、質問の意図を取り違ってしまうかもしれません。テーマをこの2つにした理由を、例えば資料1の大本のところに書いた方がいいということでしょうか。

【杉下会長】今、半澤委員が言われていたことは、町に対して意見を言うツールは何かということと、資料3-4のパブコメ、住民説明会、提案制度等々があり、それをリスト化したのが第1弾だと思います。そのようなツールはいつどのタイミングで意見を言えば良いというわけではなく、計画1つ作るにしても意見が反映されやすい・されにくいがあるということで「いまここマップ」を作れば分かりやすいかと。ある程度計画が確立しているところでパブコメは出てこないわけで、前段に出てきます。その中で、時系列的に分かりやすく「いまここマップ」を挙げました。少し話が戻ってしましますが、制度のパブコメや住民説明会等ありますが、その中の1つ、まちづくり懇談会に関しては、名ばかりで、コロナ等々の影響により開催がされていません。町長に対して貴重な意見を言える機会を作るべきということで、推進会議で検討した結果、1つの試みとして、Zoom等のオンラインを活用した新しい生活スタイルでの開催に至りました。そのようなところをもう少しわかり易く書かれた方がいいのではないかと、というのが半澤委員の意見かと思います。

【半澤委員】会長が言われたとおり、報告に入る前の前段の説明として、ただやみくもに選んだわけではなく、優先度としてどのように選んだのかという話が必要なのではないかとことです。

【杉下会長】今、私の方で半澤委員の意見を簡単に受け止めて、まとめさせていただいたので、次回のまちづくり推進会議までに事務局と共に文面を修正し、提示させていただくということで、一回引き取らせていただければと思います。よろしいですか。

【半澤委員】分かりました。ありがとうございます。

【杉下会長】ありがとうございます。安江委員は先ほど御発言いただきましたが、補足で何かありますか。

【安江委員】まとめていただいたのは問題ないのですが、1件だけ。このステップではないかもしれませんが、きちんとこれが扱われるようになった際、どのような効果が出ているのかを振り返る、検証することをしていただきたいというのが意見というか、提案です。

【杉下会長】ありがとうございます。余談ですが、まちづくり懇談会でコーディネーターの締めとして「今回の懇談会は、町長に意見を言うことが目的ではなく、あくまでも手段で、今回いただいた意見がどのように町に反映されたかというのが大切なところです」と言わせていただきました。まさに今、安江委員がおっしゃったように、提案や作ったものがどのように反映されているのか。作るのが目的ではなくあくまで手段なので、そのような点を踏まえて、第8期に引き継ぎができればと思います。大変貴重な意見だと思います。ありがとうございます。上山委員、先ほど御質問がありましたが、それ以外に全体を通して何かございましたらお願いいたします。

【上山委員】全体では十分まとめていただいて、半澤委員と安江委員の文言を入れていただければ十分かなと思っております。ただ1か所だけ、資料3の「今ここマップ」に関する報告書の「いまここマップ」という名称は仮称ですよというのがあまり出てきませんでした。資料1の最後の検討経過でしか「(仮称)」とついていなかったのも、名称は皆さんで考えてくださいという意味も含め、「(仮称)」とつけた方がいいかなと思いました。

【杉下会長】「いまここマップ」で最終的に確定をするのか、より素敵なネーミングがあればということです。これは本日の課題として、宿題というのは大げさですが、良いネーミングがあれば事務局にお伝えいただいて、次回の推進会議で最終的な名称を確定するという流れで、事務局よろしいでしょうか。上山委員の意見はそのような形で1回受け取らせていた

だきたいと思います。ありがとうございます。続きまして山下委員、何かございましたらお願いをしたいのですが。

【山下委員】委員と名のつく者としては申し訳ないことを申し上げますが、今のこの文章を追っていくのが分かりにくかったです。

【杉下会長】文章が分かりにくかったと、山下委員から御意見をいただきました。

【山下委員】せっかく資料を頂戴しましたので、資料に沿ってお知らせをしていただくともう少し分かり易かったかなという気がします。議題とは少し外れますが、お願いでございます。

【事務局】文章というのは、報告書ではなく資料説明の文章のことでしょうか。

【山下委員】はい。文章を追いながらずっと拝見していたのですが、混乱してしまいました。願わくば、順番通りに御説明いただければ、ずっと入ってきたと思います。全部とても丁寧に書いていただいていますので、大変な資料ということは承知しております。ただ、説明が前後していたような気がするので少し戸惑いました。

【事務局】説明の際に、資料の並んでいる順番に説明をしていった方が良いということでしょうか。

【山下委員】さようでございます。

【事務局】説明が前後してしまいすみません。その資料の順番に説明をした方が良いのではということですね。

【山下委員】願わくは、なるべくそのようにしていただけますと、分かり易かったです。

【事務局】ありがとうございます。

【杉下会長】山下委員、ありがとうございます。今後、順番通りにやっていただけると、こちら資料を追いやすくなるかと思います。続きまして、大関委員、久々の御出席ということで率直な御感想等をいただければと思います。

【大関委員】こここのところ何年もまちづくり推進会議に出席していますが、こんなにも活発に意見を言っている会は少なかったと思いながら聞い

ておりました。全体的な流れがとても良く、分かり易く、今までになく仕上がっているのかなと思っております。会長の力が十分に出ているのだと思いつながら聞いておりました。また、今後ともよろしく願いいたします。

【杉下会長】ありがとうございます。続きまして、大久保委員、何か御感想等がございましたらお願いいたします。

【大久保委員】2月のまちづくり懇談会について、気にはしていたのですが、今報告を受けて、委員長の力量に負うところが多いですが、概要は分かりましたので、今後またこれを生かしていければいいのかなという意見・感想でございます。

【杉下会長】ありがとうございます。続きまして、金子委員、何かございましたらお願いします。

【金子委員】まちづくり懇談会、推進会議で行われていること、すごく寒川町は積極的にやっていると感じます。寒川町は結構ポテンシャルの高い町でもございますから、できれば、他の市町の模範になるように、先んじたまちづくり等も計画、実践していただくとありがたいです。よく、近隣の市町村を参考にしてというような話を聞きますが、逆にそのようなことを先行して行えるような町になっていただきたいです。まちづくり推進会議の委員となり、今回が2回目の参加で大変申し訳ないと思っておりますが、できることはさせていただきたいと思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。

【杉下会長】ありがとうございます。まさに、金子委員がおっしゃったように、他市の先進的事例が寒川から1つでも2つでも、特に協働のまちづくりというのができればいいですね。今回作ったものが皆さんに活用されれば、意義があるのかなと思います。ありがとうございます。今回初めての御参加で、なかなか発言が難しいかと思いますが、吉田委員、率直な感想でも構いませんので、御発言いただければと思います。

【吉田委員】本日、初めてのまちづくり推進会議の参加ということで、前任の竹森からも、とても活発な意見が議論されているという話を聞いておりました。実際参加したところ、率直な意見としまして、杉下会長の話の方向性をしっかり建設的な意見の方向にもっていくところが、皆さんが活発な議論をしやすくする雰囲気づくりにつながっているのだと感じました。今回が初めてで全然発言ができていないのですが、ぜひ次回以降は発言の機会をいただければと思います。まちづくり懇談会について、町長と懇談をする機会はなかなかないと思います。中学生のような若年層の方や、幅広い年齢層の方々から意見を貰いながら進めていくということはすごく大事になるかと思っております。懇談会を開催することはすごく大事なので

すが、懇談会を開催後、町や町長から今回の感想や意見を貰うのも良いのかなと感じました。私の率直な意見とさせていただきます。

【杉下会長】吉田委員の発言、すごいです。開催後、町長がどのように感じたのかについて確かに気になりましたが、事務局何かありますか。

【事務局】町長からも、住民の方と直接話ができたとということで、有意義な時間を過ごせたと伺っております。また次の機会があればぜひというふうに聞いております。

【杉下会長】今後、町長のコメントも全体ではなくても、推進会議に御報告という形でも、検証の1つのツールになると思うので、非常にいい御意見をいただけたかと思えます。ありがとうございます。続きまして、高崎委員。何か御発言いただければと思えます。

【高崎委員】いろいろなことがいっぱいあったので、頭の中が整理できなかったのですが、吉田委員がおっしゃっていた未成年の方からも意見を取り入れて町をより良くするという、大人だけではなく、子どもたちからも意見を取り入れてやっていけたら、また少し違う角度から見える意見が出るのかなというのがとても印象的でした。

【杉下会長】ありがとうございます。子ども議会もあります。子どもだけのグループでやるというのも1ついい提案かもしれません。御意見として承っておきたいと思えます。続きまして、庭野委員、何か御発言をお願いできればと思えます。

【庭野委員】「いまここマップ」の名称はとても皆さんに親しみやすい様な感じで、かわいらしく感じております。

【杉下会長】ありがとうございます。もし他にもっとかわいらしい名称がございましたら、次回以降にもいただければと思えます。続きまして平本委員、御発言よろしいですか。

【平本委員】まちづくり懇談会が無事に終わって良かったと思えます。少し思ったのが、開催をどこでお知りになりましたかというアンケートの中で5の方がその他の知人や家族からと書いてあったので、もう少しPRがあっても良かったのかなと思えます。女性の方が4名も参加されていて、女の人もすごいと思えました。

【杉下会長】ありがとうございます。今後の募集に対しての御意見を賜ったかと思えます。続きまして、井村委員、何か御発言をお願いいたします。

【井村委員】町民に分かり易いというのはもちろんですが、事務局側にも分かり易いことも結構大事かと思います。加えて、作業する側も簡単で簡潔に終わるような工夫があれば様々なことができるのではと思いますので、よろしくをお願いします。

【杉下会長】ありがとうございます。事務局が負担なくできるよう、我々も協力していきたいと思います。菊地委員、総括的に何かあれば、よろしくをお願いします。

【菊地委員】仮称の「いまここマップ」について、記憶が正しければ、私がそのようなものがあれば良いと言った以降、仮称という形でずっと残っていると思います。先ほど、この名前がいいのではないかという御指摘がありました。次回会議以降になるかと思いますが、ポートフォリオのような意味合いをイメージしておりました。自分たちが今いるポジションと自分たちが次どこに向かうのか、今いる場所と次向かう先を同時に示すものがポートフォリオと呼ばれるものです。寒川町版まちづくり参加ポートフォリオをサブとし、それを言い換えると「いまここマップ」になるのかなと思っております。具体的な内容に入ってしまうと恐縮ですが、次回以降そのようなところを議論できればと思います。今回は、我々が試してみることに関し、多くの貴重な御意見が出てきて、事務局も一生懸命それに対応していただき、非常に我々としてもやりがいがあります。先ほどお話がありました、今期に出た提案もまた、将来の次期以降の委員に評価をされると思いますので、我々の通信簿もまた楽しみにしたいと思います。

【杉下会長】ありがとうございます。最後に、落合副会長お願いいたします。

【落合委員】ちょうどもちづくり懇談会に妻が出席しておりました。3年前に藤沢から移り、町長と話ができたことがとても新鮮で、前向きに全部受けていただいたと話していました。杉下会長の仕切り役が時間通りに進んでおりとても良かったというのと、女性の方の前向きな意見が多く苦情的意見が少なかったとも話していました。今後の課題は、安江委員が言っていた、どのように反映されたか、どのようにブラッシュアップしていくかだと思います。資料4にあった協働事業提案制度について、私も事業を提案させていただきました。まちづくり推進会議の委員として、町の予算を考慮し実践し、中間発表を経て、懇談会等へつなげていきたいと思えます。

【杉下会長】ありがとうございます。議題に関して、全員からいただいた御意見も最終的に事務局と調整しながら頭の部分を整理し、次回の会議で御提示して確定というふうに進めたいと思います。感心する貴重な御意見も多く、勉強になりました。最終報告書への意見反映等について、検討を

	進めたいと思います。議題に関して、(1)(2)(3)は閉じさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。ありがとうございます。	
配付資料	資料1	第7期寒川町まちづくり推進会議報告書(案)
	資料2	第24回まちづくり懇談会に係る報告書(案)
	資料3	各計画プラン進捗状況一覧表・いまここマップに係る報告書(案)
	資料4	寒川町みんなの協働事業提案制度(令和4年度実施事業)採択事業について
	資料5	パブリックコメントの意見提出用紙について
	資料6	パブリックコメント意見提出用紙(案)
	参考資料1	第7期寒川まちづくり推進会議委員名簿
議事録承認委員及び 議事録確定年月日	井村委員, 半澤委員 (令和4年4月11日確定)	